■ 保管方法

○短期間であれば膨らませた状態のまま保管することは可能です。次に使用する前に空気圧を必ず確認してください。

○長期間保管する場合は空気を完全に抜いてください。バルブを開けた状態で完全に空気を抜いて、収納袋に入れて保管してください。

○直射日光を避け、清潔で乾燥した場所で保管してください。剥き出しの状態や、湿った場所、コンクリート上や湿度の高い場所には絶対に保管はしないでください。

○4度以下の気温になる場所での保管はしないでください。

■ 廃棄方法

○廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。
製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。
なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

○本製品の誤った使用方法によるもの　○間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
○乱暴な取り扱いによるもの　○その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

■ 仕様・サイズ

品　　番	1843055	1843056	1843054
品　　名	アクアグライド ブラックフットHB アングラー SL	アクアグライド クリキタット HB Two	アクアグライド シェラン HB タンデム XL
定　　員	1人	1〜2人	1〜3人
最大積載量	181kg	272kg	272kg
本体サイズ	全長 320㎝ 最大幅94㎝	全長 381㎝ 最大幅91㎝	全長 457㎝ 最大幅91㎝
本体重量	14.5kg	16.4kg	19.1kg

【最大圧力】フロア：0.41bar(6.0psi)　サイドチューブ：0.21bar（3.0psi）
【主素材】塩化ビニール

■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

株式会社モンベル　本　社　〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2　Tel. 06-6531-3544　フリーコール：　0088-22-0031
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで　モンベルホームページ　http://www.montbell.jp

07-504-1611

Aquaglide

共通取扱説明書

インフレータブルカヤック

Inflatable Kayak

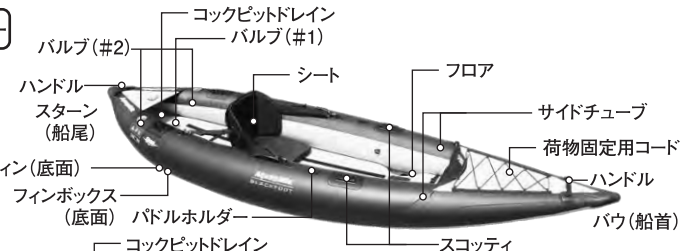
この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用の前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。
ただし、本説明書は本製品の基本的な使用方法を示すものです。安全な条件のもとで十分な練習を行い、正しい使用方法を習得してください。
なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

■ 特長

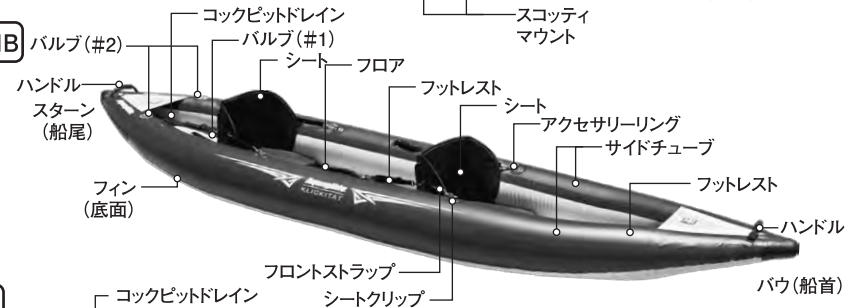
本製品は空気を入れるだけで簡単に組み立てができるインフレータブルカヤックです。空気を抜くと、コンパクトに折りたためます（※本製品を組み立てるためのポンプは別売です）。

■ 各部の名称

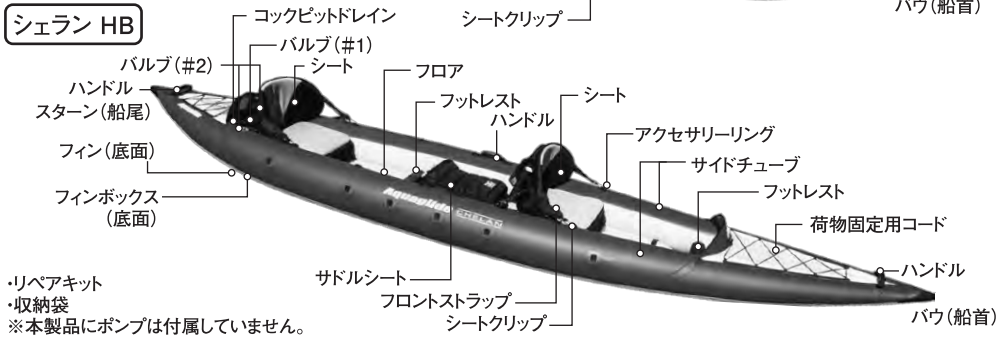
ブラックフット HB アングラー



クリキタット HB



シェラン HB



・リペアキット
・収納袋
※本製品にポンプは付属していません。

■ 安全上の注意 必ずお読みください

保護者の方へ

●お子さまがご使用になる際は、保護者の方が本説明書をよくお読みいただき、お子さまが理解できるように説明してください。

●本製品の対象年齢は 5 歳以上です。5 歳未満のお子さまは使用しないでください。

●お子さま同士や、一人だけでの使用は絶対にしないでください。

⚠ 危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

◯カヌー（パドルスポーツ）は場合によっては使用者や周囲の人を危険に陥れたり、死傷事故を誘発する可能性のあるスポーツです。本製品またはそれに係わる製品を使用する方は、傷害を負ったり、死亡する場合もあり得ることを理解しておかなければなりません。また、事故を防止するためにも、本製品を使用する前には必ず本説明書を熟読し、その指示に従ってください。

◯本製品は製品の特性上、本体に強い負担がかかるような激しい使用方法には適しません。

◯本製品は、鋭利な岩に当たり本体に強い衝撃を与えると破損します。このような行為は絶対にしないでください。

◯風が強かったり波が高いときは使用しないでください。

◯沿岸では潮の干満や潮流のはやさも十分に考慮してください。湖、大河、沿岸等で使用する際、気象の変化により、思いもよらぬ突風、強風が吹く場合があります。人力に頼っている本製品の特性をよく理解し、無理せず安全にお使いください。

◯飲酒や心身に影響を及ぼす薬品・薬物を使用して本製品を使用しないでください。傷害を負ったり、事故の恐れがあります。

◯必ず、ライフジャケット（救命胴衣、フローティングベスト）を着用してください。

◯救急処置法と救急訓練を常に心掛け、それに必要な救急箱・救急道具等を携行してください。

◯水かさが増している時など悪条件下では本製品を使用しないでください。

◯自分の能力以上の行動は慎んでください。

⚠ 警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

◯空気が漏れている状態では絶対に使用しないでください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。

◯本製品を使用する際に、岩などがあるところではウオータースポーツ用ヘルメット、グローブ、ウオーターシューズなどの保護するものを着用してください。着用しない場合、傷害を負う恐れがあります。

◯安全な場所で操作方法を十分に練習してから使用してください。操作に不慣れだと傷害を負ったり、事故の恐れがあります。

◯本製品は穏やかに流れている場所で使用できますが、流れが急な場所では使用しないでください。

◯水深の浅い場所では使用しないでください。フィンが破損する恐れがあります。

◯本製品はレジャー用です。救命ボートとしては使用しないでください。

◯泳げない方は絶対に使用しないでください。

◯しけの場合は、水流や渦の発生、障害物などの危険性が加わります。また、行ったことのないエリアでは必ず経験豊富なガイドと一緒に行動してください。

◯本製品の最大積載量を超えて使用しないでください。本来の性能を発揮できない恐れがあります。

◯お子さまがご使用になる際は、保護者の方が本説明書をよくお読みになり、お子さまが理解できるように説明し、使用方法を理解したかどうかを確認のうえ、必ず保護者の監視下でご使用ください。お子さま同士や、一人だけでの使用は絶対にしないでください。

◯本製品は水上で使用する目的で作られています。その他の目的（雪上など）では使用しないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。

◯本製品は定員を守って使用してください。定員以上で乗ると傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。

◯本製品は安全が確保された場所で使用してください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。

◯本製品を原動機付きの乗り物で牽引しないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。

◯本製品の改造はしないでください。乗艇・脱艇の妨げになる様な改造・艤装・積載をさけてください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。

◯本製品を使用する前に本製品に合わせた講習を受けてください。

◯一人でカヌー（パドルスポーツ）を行わないでください。

◯水温・気温が低い場合は天候に合わせた服装をしてください。身体を濡らしたまま放置した場合、危険な低体温症になる恐れがあります。

◯毎回使用前に本製品を点検し、摩耗や破損の予兆がない事を確認してください。

◯見知らぬ場所、不確かな場合は事前に調査してください。

◯健康に問題のある方は、本製品の使用始める前に医師にご相談ください。

◯本製品に荷物を積む場合は、艇の安定、操作性が損なわれない程度の量とバランスをよく考えて積んでください。静水時にデッキが水没する程積載するのは危険ですのでおやめください。

◯運搬時以外に本製品のハンドル（持ち手）に手や足を入れないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。

◯本製品の下で泳がないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。

◯本製品から水中にジャンプしたり飛び込んだりしないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。

◯本製品の所有者は本説明書をよく読み、全ての使用者に対して本製品の安全な操作方法について責任を持って指示してください。

⚠ 注意 人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

◯標高の高い場所に移動する前に空気を入れないでください。過圧状態となり破損の恐れがあります。

◯本製品の適正圧力以上に空気を入れないでください。過圧状態となり破損の恐れがあります。

◯空気を入れる際は適合するポンプを使用してください。絶対にエアコンプレッサー、二酸化炭素ボンベ、高圧圧縮空気などは使用しないでください。

◯陸上では直射日光や火などの熱に近づけないでください。過圧状態となり破損の恐れがあります。

◯陸上で使用しない時は、少し空気を抜くか、日陰に置いてください。過圧状態となり破損の恐れがあります。

◯ナイフ、岩などの鋭利なものや、40℃以上の熱に接触させないでください。破損の恐れがあります。

◯正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。

◯フィンを下にして本製品を置かないでください。フィンが破損する恐れがあります。

◯メーカーの供給するオプションや部品以外は取り付けないでください。

■ 使用前の点検

使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。
異常が見られた場合は使用しないでください。

□本体に傷や破れがないか　□バルブは機能するか

■ 使用方法

組み立て方法

◯同梱品の確認

パッケージの中に同梱品が正しく入っているか確認してください。不足があった場合は販売店もしくは弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。（P1の各部の名称を参照）

※お客さまご自身で用意していただくもの（本製品に同梱されていません）

ポンプ:本製品に空気を入れるためのポンプが必要です。本製品のバルブに適合するポンプをご用意ください。圧力計付きのポンプがお勧めです。

○空気の入れ方

①本製品を水に浮かべる場所に近い、平らで乾燥した安全な場所に置きます。本製品の損傷を避けるため、鋭利なものや尖った岩、貝殻やサンゴなどの上で組み立てないでください。また、空気を入れる前や後も地面の上で本製品を引きずらないでください。損傷する恐れがあります。

②空気を注入するため、本体を完全に広げてください。フロアバルブは高圧スプリングバルブです。図1のように、バルブの根元を押してひねり、バルブを閉じます。バルブを閉めて船の底に空気を入れます。空気を抜くときは、バルブを開けます。

③始めに、フロアのバルブ#1に、少なくとも6.0psi (0.41bar)、最大12.0psi (0.83bar) の空気を入れます。空気を入れれば入れるほどフロアが固くなります。空気の入れすぎには注意をしてください。

④サイドチューブのバルブ#2に空気を入れます。③と同様にバルブを操作し、3.0psi (0.21bar) まで空気を入れます。空気の入れすぎには注意をしてください。

⑤空気が入ったら、全てのバルブのキャップをしっかり閉じます。

※空気を入れる際に、本体がわずかにねじれることがあります。その際はは片側のチューブに約30%ずつ交互に空気を入れます。両方のチューブに空気が完全に入るまで、交互に繰り返します。

バルブの操作方法

図1

空気を入れる時

バルブの中央を押し込みながら、左右どちらかに回し、バルブ中央を下げます。

空気を抜く時

バルブの中央を押し込みながら、左右どちらかに回し、バルブ中央を上げます。

⚠ 注意

○空気が少ないと本体が適切に膨らまないだけでなく、本体の剛性が落ち、漕行するのに危険な状態になります。

○空気を入れすぎると太陽光などでさらに空気が膨張しバースト (破裂) することがあります。

○インフレータブルの本製品は、時間の経過や温度変化により徐々に空気が抜けることがあるため、空気圧が適切であることを使用前に必ず確認してください。必要に応じて空気を抜き入れします。

○バルブ内に砂やゴミがある場合は取り除いてから空気を入れてください。

○バルブの蓋は必ず閉めて使用してください。蓋を開けたまま使用するとバルブ内に水や砂などの異物が入りバルブの機能を低下させる原因になります。

○付属のバルブレンチを使用してバルブ本体が絞まっているか必ず確認してください。

ブラックフット HB アングラー

⑥シートの位置が決まったら、シート前方のストラップをシートクリップを使ってアクセサリーリングにつなぎます。前方のストラップを調節し、背もたれが立った状態になるようにフロントストラップを調節します。

⑦バックストラップを使い背もたれの位置を固定します。バックストラップとプラスチッククリップを使いシート後方のアクセサリーリングにつなげます。※バックストラップはシートを使っていない時に、背もたれが直立するように作られたものです。大きな負荷をかけないようにしてください。

⑧フットレストにかかとを置いた時、脚がわずかに曲がる位置にフットレストを設置しベルクロテープで固定します。

クリキタット HB

⑥次に、コックピット内のシートの位置を決めます。シートとフロアのベルクロを使いつなげます。シートは、ボートが水上で均等にバランスがとれるように置きます。一人で乗る場合は、船体の中央に来るよう置きます。2人の場合は、体重が重い人が船の後方に座るようにします。

⑦シートの位置が決まったら、シート前方のストラップをシートクリップを使ってアクセサリーリングにつなぎます。前方のストラップを調節し、背もたれが立った状態になるようにフロントストラップを調節します。

⑧バックストラップを使い背もたれの位置を固定します。バックストラップとプラスチッククリップを使いシート後方のアクセサリーリングにつなげます。※バックストラップはシートを使っていない時に、背もたれが直立するように作られたものです。大きな負荷をかけないようにしてください。

⑨フットレストにかかとを置いた時、脚がわずかに曲がる位置にフットレストを設置しベルクロテープで固定します。

シェラン HB

⑥シートクッションに空気を入れます。シートとサドルシートのバルブの根元を反時計回りにひねるとバルブが開き、時計回りにひねるとバルブが閉じます。バルブが開いた状態で空気を入れてください。口またはポンプで空気を入れます。空気はシートが柔らかくなるように入れます。固くなりすぎないようにしてください。

⑦コックピット内のシートの位置を決めます。シートとフロアのベルクロを使いつなげます。シートは、ボートが水上で均等にバランスがとれるように置きます。一人で乗る場合は、船体の中央に来るよう置きます。2人の場合は、体重が重い人が船の後方に座るようにします。

⑧シートの位置が決まったら、シート前方のストラップをシートクリップを使ってアクセサリーリングにつなぎます。前方のストラップを調節し、背もたれが立った状態になるようにフロントストラップを調節します。

⑨バックストラップを使い背もたれの位置を固定します。バックストラップをプラスチッククリップを使いシート後方のアクセサリーリングにつなげます。※バックストラップはシートを使っていない時に、背もたれが直立するように作られたものです。大きな負荷をかけないようにしてください。

⑩フットレストにかかとを置いた時、脚がわずかに曲がる位置にフットレストを設置しベルクロテープで固定します。

○フィンの取り付け

フィンを取り付ける際は本体を裏返し、フィンボックスの先端にフィンの前側を差し込みます。フィンボックスに対してフィンを後方に引きながら押さえます。(図2 a)

脱落防止のためにフィンボックスホールにクイックリリースピンを奥まで差し込みます。(図2 b)

※ホワイトウォーター (流れのある所や浅い所) で使用する際はフィンを外し、空のフィンボックスホールにクイックリリースピンをさして保管してください。

図2 a

図2 b

○使用方法

①本製品は水面まで持ち上げて運んでください。地面を引きずって運ぶと損傷する恐れがあります。

②使用する前に毎回フィンとフィンのクイックリリースピンの接続を確認してください。

○ドレインホールについて

カヤックから水を排出するにはコックピットドレイン（排水用弁）を開けてください。※ホワイトウォーターで使用する際は、コックピットドレインの蓋をループごと外してください。コックピットに入った水が排水されやすくなります。（その際、フロアは常に水が入ります。）

⚠ 注意

○空気が少ないと本体が適切に膨らまないだけでなく、本体の剛性が落ち、漕行するのに危険な状態になります。

○空気を入れすぎると太陽光などでさらに空気が膨張しバースト（破裂）することがあります。

○バルブ内に砂やゴミがある場合は取り除いてから空気を入れてください。

○バルブの蓋は必ず閉めて使用してください。蓋を開けたまま使用するとバルブ内に水、砂などの異物が入りバルブの機能を低下させる原因になります。

○バルブ本体が閉まっているか必ず確認してください。

○収納方法

①本体を裏返し、取り付けた逆の手順でフィンを外します。

②フロアのバルブ（#1）とサイドチューブのバルブ（#2）を開けます。バルブの各パーツを取り外す際は、間違えないように組み立て時と逆の順番（図1のステップ2→ステップ1）で行ってください。

③両側のサイドチューブを内側に折り込み、バウ（船首）からスターン（船尾）に向かって空気を押し出すように空気を抜きながら折りたたんで収納袋に収納します。

※本製品を使用した後、シートとフットレストはそのままにして収納できます。

■ 生地の修理方法

※付属のリペアキット以外の修理用品はお客さまでご用意ください。

○作業スペースと修理道具

①清潔で乾燥しており、換気のよい所で修理してください。接着剤の適切な硬化を促すため、気温が10度以上になるようにしてください。なお、本製品を膨らませて置けるだけの十分なスペースが必要となります。

②リペアキットの同梱品：PVCパッチ、ファブリック修理パッチ（製品に応じて同梱）※接着剤は付属していません。

③修理の際に必要なもの（修理内容により異なります、お客さまでご用意ください。）
ポンプ、塩化ビニール用接着剤、よく切れるはさみかナイフ、食器洗い用洗剤、水、小さめのボウルかスプレーボトル、やすり#120、消毒用アルコール、ペン、小さいブラシか使い捨てのペイント用ブラシ、きれいで乾燥した布

○漏れの見つけ方

①本体に空気を入れます。

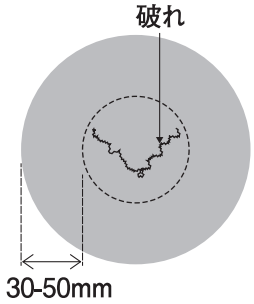
②食器洗い用洗剤を溶かしたせっけん水（洗剤50%、水50%）を本体にスポンジ等で塗布するか、スプレーボトルに入れて噴きかけ、泡ができる（空気漏れの）箇所を見つけます。

③食器洗い用洗剤を溶かしたせっけん水（洗剤50%、水50%）と布を使って漏れている場所を確認します。せっけん水を本体にスポンジ等で塗布するか、スプレーボトルに入れて噴きかけ、泡ができる箇所を見つけます。

④空気が漏れる箇所を特定できたら、その箇所を十分乾かし、マークを付けておきます。

○パッチの貼り方

重要：穴あきの補修は完全に空気を抜いた状態で行い、パッチを貼った後は24時間放置して接着剤を完全に硬化させてください。



※接着剤の取扱いや各所要時間は接着剤に付属の説明書をお読みください。

①補修の前に完全に空気を抜きます。

②リペアキットの中から、補修する箇所と同じ材質のパッチを選んで使います。よく切れるはさみかナイフを使用し、パッチを補修する箇所に合うサイズに切ります。

a. パッチのサイズは、補修する穴のサイズから全方向に3 ～ 5cm大きく切ってください。ピンホールの場合、パッチのサイズは5cm×5cmにしてください。パッチのサイズが大きいほどしっかり補修ができます。

b. 剥がれにくくするため、なるべくパッチの角は丸く切ってください。

③パッチのサイズが適切かどうか、接着剤を塗る前に補修箇所に置いて確認してください。

④きれいなやすり#120を使い、補修する箇所の表面とパッチの裏側（接着面）にやすりをかけます。

⑤消毒用アルコールときれいな布でやすりをかけた場所を拭き取り、ゴミを取り除きます。

⑥もう一度接着剤を塗る前にパッチを補修箇所に当て、ペンでパッチを貼る箇所に印を付けます。

⑦接着剤を使用します。丁寧に、かつ素早く作業をしてください。

a. 使い捨てのブラシを使い、あらかじめペンで印を付けた補修箇所全体に薄く均一に接着剤を塗り伸ばします。印を付けた箇所からはみ出さないように注意します。

b. 使い捨てのブラシ等を使い、パッチの裏面全体に薄く均一に接着剤を塗り伸ばします。

c. 約60秒間、接着剤を硬化させます。

d. ペンで付けた印を目印にして端から注意深く補修箇所にパッチを当てます。パッチと補修箇所の接着面が重なると、すぐに接着剤の硬化が進むため、慎重に行ってください。

e. 端から注意深くパッチを貼り付け、しっかりと上から圧迫します。

f. パッチ全体とパッチの端の部分を上からこすり、しっかりと圧迫します。

g. 空気を入れて使用する前に少なくとも24時間は放置し接着剤を完全に硬化させてください。

⑧リペアキットで対応できないほどの大きな破れなどの修理は、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。
使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

○海水や汚れた水中で使用した場合は、使用後にきれいな水で柔らかいスポンジやブラシ等を使い洗います。スチールたわし等は本製品が傷つきますので使用しないでください。

○汚れが落ちない時は中性洗剤と真水で本体を洗い、しっかりすすいでください。強力な化学薬品を含む洗剤を使用しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。

○洗浄後は完全に乾燥するまで十分な時間を置いてから収納してください。乾燥が不十分な場合はカビが発生する恐れがあります。なお、空気を入れた状態の方が早く乾燥します。

○長期間太陽光にさらすと本製品が紫外線により劣化する恐れがあります。定期的に紫外線劣化予防剤を塗布することをお勧めします。